

令和7年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間・最終)

仁方中学校区 校番1 学校名 呉市立仁方小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
★★★	主体的に学び、 思考力・判断 力・表現力を育 てる。	① 生活をよりよくす るために、自分 の考えを深め、 表現する授業づ くり	○生活との関連を意識した発問や授業づくりを行うことで、4月当初に比べ、全体交流や振り返りで学習したことを生活と関連させた内容を表現する姿が見られてきている。 ●考えを深めるための基盤となる基礎学力の定着や自分の考えを表現したり根拠に基づいて表すことに課題が見られる。	・TTと連携し、習熟を図る場面で、個に応じた学習活動をする。 ・表現活動の場面で、意図的指名や全体で発言内容の確認、ペアやグループで発表し合う等、一人一人がアウトプットする機会を設ける。 ・思考力を問う問題において、解答の仕方を視覚化したり、数値や場面を変えた簡単な類似問題から取り組みせたりすることで、論理的思考や望ましい表現の型を定着させる。
		② 基礎学力の定着 と向上	○スマイルタイムやスキルタイム、自主学習「ぐんぐんノート」に取り組むことで、基礎学力が定着しつつある。 ○複数教員による個別の支援をすることにより、児童の課題に沿った指導ができてきている。 ●タブレットを用いてキュピナを家庭学習等に活用しているが、深く考えることなく答えるため、学力向上につながっていない。 ●日本語の理解が難しい、落ち着いて学習することが難しいなどの配慮を要する児童に、基礎学力を定着させることが難しい。	・キュピナに取り組ませる際に、間違えた問題や解説を、自主学習「ぐんぐんノート」に写すなど個の実態に合わせた家庭学習を指導する。 ・スマイルタイムやスキルタイム、自主学習「ぐんぐんノート」に粘り強く取り組ませるとともに、復習だけでなく予習も取り入れるなど、学習の仕方に変化をもたせる。
		体力の向上	○休憩時間に外遊びに行く児童が多い。 ●高学年になるにつれて外遊びに行く児童が減っている。 ○学年が上がるにつれて県平均を上回っている児童が増えている。 ●休憩時間にボールを投げて遊んでいる児童は一定数いるが少ない。 ●日常生活の中で、投力を高める運動を行っていることが少ない。	・雨の日の休憩時間は、体育館を開放し運動できるようにする。 ・委員会活動を通して、投力を向上させるイベントを行う。 ・投力・走力の2回目の新体力テストを行い、自分自身の伸びを見る。 ・呉チャレンジマッチの取組を促し頻度を増やす。 ・サーキット運動の中の投の運動を学年や実態によって工夫する。
★★	自らを律し、他人を思いやる豊かな心を育てる。	① 規範意識の向上	○学校のきまりを守れる児童が多い。素直に前向きに様々なことに挑戦できる児童が多い。 ●きまりをなかなか守れずに学校の中で生活する児童も一定数いる。時と場に応じた行動をとることに課題のある児童がいる。	・黙想の徹底を図り落ち着いて授業に取り組めるよう、粘り強く指導をする。 ・学校のきまりを確認する機会を定期的に設け、規範意識の向上を図る。
		② 安心・安全な風土の 高い学校	○教職員が様々な学年の児童に日頃から声をかけ、協力して支援する体制がある。いじめ等の未然防止に向け、教職員で連携が取れている。 ●学校へ行くのが楽しいと感じる児童の数は目標値には至っていない。縦糸と横糸の関係の深化、楽しく分かる授業の充実に課題がある。	・教職員全体で様々な学年の様子に目を向け、声掛け等をする。 ・児童の頑張りを認め励ます機会を増やす。 ・楽しく分かりやすい授業を意識して全体で取り組む。 ・いじめアンケートの結果やいじめの要因を情報共有し、指導に生かす。
		「自分の命は自分で守る」力の育成	○参観日を通して家庭や地域を巻き込んだ防災教育に取り組めた。「土砂災害携帯マニュアル」を全家庭で作成したことで、避難場所や避難の仕方が身に付いてきている。 ●日頃から継続した取組が不十分で、真剣に訓練等に取り組まない児童もいた。	・系統立てた防災に関する授業を計画的に実施する。 ・予告なしの避難訓練の実施や定期的に「土砂災害携帯マニュアル」の確認を行う。
★	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。	児童と向き合う時間を確保する。 長時間勤務を削減する	○縦割り班活動や授業を通して、担当学級だけではなく、他学年や他学級の児童との関わりが増えている。また、直接的、間接的に児童と関わることができている。 ○今まで活用してきた資料やデータを基にして工夫することで、業務の効率化が図られている。 ●1学級の人数が多いこともあり、一人一人と直接的に関わる時間が少ないと感じている。 ●生徒指導対応、教材研究や教材づくり、学力補充等に追われているため、勤務が長時間になったり、超過勤務の日が続いたりしている。結果として、目標時間を超過してしまっている。	・計画的に仕事を進めていくために、優先順位を決めて時間配分をしてから取り掛かるようにする。 ・4月は目標達成が困難であったが、7月8月にかけて、超過勤務が少なくなってきた。全体的、計画的に勤務時間を考えていく。 ・業務改善に向けての研修を通して、各担当からの出された業務改善案を精選して取り入れ、できることから始める。